

## 江戸期昔話絵本「花咲爺」の構造 —— 本文のモチーフ構成（一） ——

岡崎女子大学  
赤羽根 有里子

### 要旨

江戸期昔話絵本「花咲爺」の本文はどのようなモチーフで構成されているのか。本稿では江戸期昔話絵本「花咲爺」の構造を明らかにするためのステップとして、十五作品における本文内容とそのモチーフを整理した。その結果、江戸期昔話絵本「花咲爺」を構成する本文のモチーフとして、「犬の登場」「犬の指示による宝の発掘」「犬の喪失」「白による宝の取得」「白の喪失」「白の灰による開花」「慳貪爺の運命」「正直爺（婆）の運命」が共通することが明らかになった。

キーワード：江戸期 昔話 花咲爺 絵本 モチーフ

### はじめに

江戸期昔話絵本「花咲爺」の本文はどのようなモチーフで構成されているのか。筆者はかつて「江戸期昔話絵本『花咲爺』の諸本」の中で、「花咲爺」諸本の提示と趣向の変容について論じたが、本稿では、そこで対象となった江戸期昔話絵本「花咲爺」作品全てについて、本文内容を整理し、どのようなモチーフで構成されているか、そこに共通するモチーフは何かを明らかにしたい。江戸期昔話絵本「花咲爺」の構造を明らかにするためのモチーフの抽出やその分析については、対象が絵本作品であれば、本文と絵柄の両面から、さらには本文と絵柄の関係から進めなければならないが、まずはその第一段階として、本文のモチーフ構成に注目することとする。

### 一、江戸期昔話絵本「花咲爺」作品一覧

いかなる要素を満たした作品を「花咲爺」と呼ぶのかについては諸説ある

が、本稿では、『日本昔話大成』十一巻所収「昔話の型」の「花咲爺」を基準として、江戸期昔話絵本諸作品の中から「花咲爺」を選別した。今回調査の対象としたのは次の十五作品である。<sup>3)</sup>

◇赤本・黒本・青本

①『枯木花さかせ親仁』（画作者・刊年未詳 東洋文庫内岩崎文庫）

②『花咲爺』（画作者・刊年未詳 東洋文庫内岩崎文庫）

③『花咲ぢゝい』（画作者・刊年未詳 大東急記念文庫）

④『花さきぢぢ老楽のゑいぐわ』（前半欠 奥村政信画 刊年未詳 国会図書館蔵）

⑤『花咲ぢゝい』（前半欠 画作者・刊年未詳 大東急記念文庫）

◇黄表紙

⑥『御馴染花咲祖父』（歌川豊国画 市場通笑作 寛政六年刊 都立中央図書館蔵・御馴染花咲祖父）国会図書館蔵）

⑦『古昔花咲勢親父』（画作者未詳 寛政九年刊か 都立中央図書館蔵）

⑧『昔話枯木花』（歌川豊国画 市場通笑作 享和元年刊 岩瀬文庫蔵）

◇合巻（体裁）

⑨『赤本再興 花咲ぢゝ』（歌川豊丸画 式亭三馬補綴 文化九年刊 国会図書館蔵）

⑩『赤本花さき爺』（歌川豊丸画 式亭三馬補綴 文化九年刊 国会図書館蔵）

⑪『勸善花咲爺』（歌川国貞画 十返舎一九作 文政三年刊 慶応義塾大学図書館蔵）

⑫『花咲爺蒼魁』（歌川国芳画 楽亭西馬作 天保期頃刊か 国会図書館蔵）

◇豆本（小本）

⑬ 『花咲かし』（南宋・遠浪齋重光画 刊年未詳 百合合女子大学図書館蔵）

⑭ 『花咲ち』（画作者・刊年未詳 百合合女子大学図書館蔵）

⑮ 『昔咄花咲爺』（宇田千町作か 天保・弘化期頃刊か 百合合女子大学図書館蔵）

## 二、江戸期昔話絵本「花咲爺」の本文内容

一で掲げた江戸期昔話絵本「花咲爺」作品の本文内容をまとめると次のようになる。なお、作品①～⑮には同板本が含まれているので、同板本のもはグループとして括り、A～Jの系統とした。

◇作品①～③（A系統）

・正直爺が川で犬を拾い、慳食婆が飯櫃を拾う。

・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。

・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものを掘り出す）、犬を殺し、松の木を植える。

・正直爺が松の木で臼を作り、爺婆が臼をひくと宝が出る。

・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものが出る）、臼を壊し燃やす。

・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。

・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず大名の目に灰を入れる）、打擲を受け殺される。

・正直爺婆、富貴の身になり栄える。

◇作品④⑤（B系統）

（欠丁のため、臼による宝の取得以前の本文は不明）

・正直爺が拵えた臼を婆がひくと宝が出る。

・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものをひき出す）、臼を壊し燃やす。

・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。

・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず大

名の目に灰を入れる）、打擲を受け命からがら帰る。

・正直爺婆、富貴の身になり栄える。

◇作品⑥⑧（C系統）

・正直爺犬を飼っておく。

・犬が無性に転んで見せる。正直爺がその場所を掘ると宝が出る。

・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものを掘り出す）、犬を捨て置く。正直爺、犬の死を弔い松の木を植える。

・松の木は一夜にして大木となり、正直爺が松の木で臼を作り麦を搗くと宝が出る。

・慳食爺婆が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものが出る）、臼を壊し燃やす。

・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。

・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、半死半生になりながら帰る。慳食爺婆、夢の中で神に諭され改心する。

・正直爺婆、懺悔する慳食爺婆に宝を分け与える。

◇作品⑦（D系統）

・正直爺が川で犬を拾い、慳食婆が飯櫃を拾う。

・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。

・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものを掘り出す）、犬を殺し、松の木を植える。

・正直爺が松の木で臼を作り、爺婆が臼をひくと宝が出る。

・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものが出る）、臼を壊し燃やす。

・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。

・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず大名の目に灰を入れる）、打擲を受ける。

・正直爺婆、富貴の身になり栄える。

## ◇作品⑨⑩（E系統）

- ・正直爺犬を飼っておく。
- ・正直爺が犬の指示で宝を掘り出す。
- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものを掘り出す）、犬を殺して松の木のもとに埋める。
- ・正直爺、夢枕に立った犬のお告げに従い、松の木で臼を作り杵を当てると宝が出る。
- ・慳食爺婆が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（恐ろしきものが出る）、臼を壊し燃やす。
- ・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し爺（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、打擲を受け血だらけになりながら帰る。慳食爺婆、正直爺婆の家の葛籠を盗むが化け物に驚かされる。さらに正直爺婆を殺そうとするが雷に掴まれ殺される。
- ・正直爺婆、富貴の身になり、養子を貰い、家内安楽に暮らす。

## ◇作品⑪（F系統）

- ・正直爺の家の裏口に、母犬からはぐれた犬あり。正直爺不憫に思い養う。
- ・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。
- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものを掘り出す）、犬を殺して松の木のもとに埋める。
- ・正直爺が松の木で臼を作り、杵を当てる宝が出る。
- ・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（金は出ず、搗いた米・麦などが減っていく）、臼を壊し燃やす。
- ・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、打擲を受け棒縛りにされ箆を被せられる、慳食爺婆、正直爺婆の前で改心する。
- ・正直爺婆、慳食爺婆に宝を与え教訓する。両夫婦とも長生きして一生安楽

に暮らす。

## ◇作品⑫（G系統）

- ・正直爺、犬を飼っておき寵愛する。
- ・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。
- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し、犬を殺し山へ埋める。埋めたところへ大きな楠木が生える。
- ・正直爺が楠木で臼を作り、臼をひくと宝が出る。
- ・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し、臼を壊し燃やす。
- ・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず大名の目に灰を入れる）、切られて死ぬ。
- ・正直爺婆、養子を貰い富貴安楽に暮らす。

## ◇作品⑬（H系統）

- ・正直爺、常に犬を寵愛する。
- ・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。
- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（何も出ない）、犬を殺す。犬を埋めたところのそばに松の木があった。
- ・正直爺が松の木で臼を作り、杵を当てると宝が出る。
- ・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものが出る）、臼を壊し燃やす。
- ・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、打擲を受ける。
- ・正直爺婆、富貴安楽に暮らす。

## ◇作品⑭（I系統）

- ・正直爺、犬を飼っておき寵愛する。
- ・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。

- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し（汚きものが出る）、犬を殺す。犬を埋めたところに椎の木があり、一夜にして実をつける。
- ・正直爺が臼で椎の実を搗くと宝が出る。
- ・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（虫食いばかりが出る）、椎の枝を打ち下ろして燃やす。
- ・正直爺、夢のお告げで椎の木を燃やした灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、戒めを受け連行される。
- ・正直爺婆、夫婦養子を貰い富貴安楽に暮らす。

## ◇作品⑩（J系統）

- ・正直爺、犬を飼いき寵愛する。
- ・正直爺が犬の指示により宝を掘り出す。
- ・慳食爺が正直爺の犬を借り宝を得ようとするが失敗し、犬を殺す。犬を埋めたところに木が生え、たちまち大木となるが、慳食爺が切り倒す。
- ・正直爺が切り倒された木で臼を作り、麦を搗くと宝が出る。
- ・慳食爺が正直爺の臼を借り宝を得ようとするが失敗し（麦が吠えかかり目鼻を傷める）、臼を壊し燃やす。
- ・正直爺、臼の灰を枯木に撒き、花を咲かせて褒美を得る。
- ・慳食爺、臼の灰を枯木に撒き褒美を得ようとするが失敗し（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）、戒めを受けるが、正直爺の助命により許される。慳食爺改心する。
- ・正直爺、慳食爺に金を分け与え、仲睦まじく暮らす。

## 三、江戸期昔話絵本「花咲爺」本文のモチーフ

江戸期昔話絵本「花咲爺」作品の本文は、どのようなモチーフで構成されているのであろうか。まず、二で取り上げた江戸期昔話絵本「花咲爺」作品①～③の本文内容を、ストーリーが大きく展開するところに注目して、次のようなモチーフにまとめてみた。

## ◇作品①～③（A系統）

- 犬の登場（正直爺が川で犬を拾い、慳食爺が飯櫃を拾う）
- 犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）
- 犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）
- 臼による宝の取得：正直爺の成功その2（臼をひくと宝が出る）
- 臼の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）
- 臼の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）
- 慳食爺の運命（打擲を受け殺される）
- ：慳食爺の失敗その3（花は咲かず大名の目に灰を入れる）
- 正直爺婆の運命（富貴の身になり栄える）

これを参考に④～⑩（B～J系統）作品の本文内容を整理すると次のようになる。

## ◇作品④⑤（B系統）

- （欠丁のため「臼による宝の取得以前のモチーフは不明」
- 臼による宝の取得：正直爺の成功その1（臼をひくと宝が出る）
- 臼の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものが出る）
- 臼の灰による開花：正直爺の成功その2（褒美を得る）
- 慳食爺の運命（打擲を受け命からがら家に帰る）
- ：慳食爺の失敗その2（花は咲かず大名の目に灰を入れる）
- 正直爺婆の運命（富貴の身になり栄える）

## ◇作品⑥⑧（C系統）

- 犬の登場（正直爺、犬を飼いおく）
- 犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）
- 犬の喪失慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）
- 臼による宝の取得：正直爺の成功その2（臼をひくと宝が出る）
- 臼の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）
- 臼の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）

慳食爺の運命（打擲を受け命からがら帰り、夢の中で神に諭され改心）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず大名の目に灰を入れる）  
正直爺婆の運命（懺悔する慳食爺に宝を分け与える）

◇作品⑦（D系統）

犬の登場（正直爺が川で犬を拾い、慳食爺が飯櫃を拾う）  
犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）  
犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）  
白による宝の取得：正直爺の成功その2（白をひくと宝が出る）  
白の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）  
白の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）  
慳食爺の運命（打擲を受ける）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず大名の目に灰を入れる）  
正直爺婆の運命（富貴の身になり栄える）

◇作品⑨⑩（E系統）

犬の登場（正直爺、犬を飼いおく）  
犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）  
犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）  
白による宝の取得：正直爺の成功その2（杵を当てると宝が出る）  
白の喪失：慳食爺の失敗その2（恐ろしきものが出る）  
白の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）  
慳食爺の運命（打擲を受け、化け物に驚かさされ、雷に掴まれ殺される）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）  
： 慳食爺婆の失敗その4（正直爺婆の葛箆を盗むが化け物に驚かさされる）  
： 慳食爺婆の失敗その5（正直爺婆を殺そうとするが雷に掴み殺される）  
正直爺婆の運命（富貴の身になり、養子を貰い栄える）

◇作品⑪（F系統）

犬の登場（正直爺、母犬から逸れた犬を不憫に思い養う）

犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）  
犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）  
白による宝の取得：正直爺の成功その2（杵を当てると宝が出る）  
白の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）  
白の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）  
慳食爺の運命（打擲・棒縛りの上策を被せられる。慳食爺婆改心する）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず大名の目に灰を入れる）  
正直爺婆の運命（慳食爺婆に宝を与え教訓する。一生安楽に暮らす）

◇作品⑫（G系統）

犬の登場（正直爺、犬を飼いおき寵愛）  
犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）  
犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）  
白による宝の取得：正直爺の成功その2（白をひくと宝が出る）  
白の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）  
白の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）  
慳食爺の運命（切られて死す）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず大名の目に灰を入れる）  
正直爺の運命（養子を貰い、富貴安楽に暮らす）

◇作品⑬（H系統）

犬の登場（正直爺、犬を飼いおき寵愛）  
犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）  
犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）  
白による宝の取得：正直爺の成功その2（杵を当てると宝が出る）  
白の喪失：慳食爺の失敗その2（汚きものが出る）  
白の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）  
慳食爺の運命（打擲を受ける）  
： 慳食爺の失敗その3（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）  
正直爺の運命（富貴安楽に暮らす）



## ◇作品⑭（I系統）

犬の登場（正直爺、犬を飼いおき寵愛）

犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）

犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）

臼（椎の実を臼で搗くこと）による宝の取得

：正直爺の成功その2（杵を当てると宝が出る）

椎の木の喪失：慳食爺の失敗その2（虫食いばかりが出る）

椎の木の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）

慳食爺の運命（打擲を受ける）

：慳食爺の失敗その3（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）

正直爺の運命（富貴安楽に暮らす）

## ◇作品⑮（J系統）

犬の登場（正直爺、犬を飼いおき寵愛）

犬の指示による宝の発掘：正直爺の成功その1（宝を掘り出す）

犬の喪失：慳食爺の失敗その1（汚きものを掘り出す）

臼による宝の取得：正直爺の成功その2（杵を当てると宝が出る）

臼の喪失：慳食爺の失敗その2（目鼻を傷める）

臼の灰による開花：正直爺の成功その3（褒美を得る）

慳食爺の運命（戒めを受けるが正直爺の願い出によって許され、改心する）

：慳食爺の失敗その3（花は咲かず殿様の目に灰を入れる）

正直爺の運命（慳食爺に宝を分け与え、仲睦まじく暮らす）

## 四、考察―「花咲爺」に共通するモチーフと今後の課題

これらの本文モチーフを通観すると、江戸期昔話絵本「花咲爺」の本文には、作品⑭（I系統）を除き、次の「I」～「VIII」の8モチーフが共通して存在することがわかる。作品⑭（I系統）についても、IV～VIの「臼」の部分（役割）が「椎」に入れ替わったと考えると、「I」～「VIII」の8モチーフが基本的に用いられていたことになる。つまり、江戸期昔話絵本「花咲爺」作品の本文の基本となっているのは、次の「I」～「VIII」の8モチーフ構成であることが

確認できるのである。

「I」犬の登場

「II」犬の指示による宝の発掘

「III」犬の喪失

「IV」臼による宝の取得

「V」臼の喪失

「VI」臼の灰による開花

「VII」慳食爺の運命

「VIII」正直爺（婆）の運命

「花咲爺」における「I」～「VIII」のモチーフ構成は、近代以降現代に至るまで継承されているが、それが江戸期の絵本作品①～⑮の本文の中で既に確立していたことに注目したい。なお、「VII」慳食爺の運命とは、多くは打擲や死など、不幸なものであるが、作品⑥⑧（C系統）や作品⑩（F系統）等のように、改心することによって正直爺より宝を分け与えられるといった幸福な結末もある。

また、「VIII」正直爺の運命は、富貴安楽な幸福な暮らしを示すものも多いが、先の作品⑥（C系統）や作品⑩（F系統）等のように、改心した慳食爺に宝を分け与えることが結末となっているものもある。例えば作品⑥『御馴染花咲祖父』（東京都立中央図書館加賀文庫蔵）の十四丁裏・十五丁表（図1）は、正直爺婆の前で慳食爺婆が改心する姿が描かれているが、（絵柄からは正直爺が富貴の様子ほうがえないが）本文に正直爺の言葉として「金はいくらもある。一俵よこしましやう。正直にさへなるとたちまち稲荷様のうそはねへ金にありつく花さきぢゝいになりけり。」と、正直爺が慳食爺に宝を分け与えること記されている。

視点を変え、正直爺・慳食爺にスポットを当ててみると、「犬の指示による宝の発掘」「臼による宝の取得」「臼の灰による開花」は、全て正直爺に宝をもたらし、「正直爺の成功」にあたる。それに比して「犬の喪失」「臼の喪失」「慳食爺の運命」は、全て「慳食爺の失敗」に起因するものである。つまり「花咲爺」には、「正直爺の成功」と「慳食爺の失敗」が交互に繰り返されるという構造を基本として持っている。

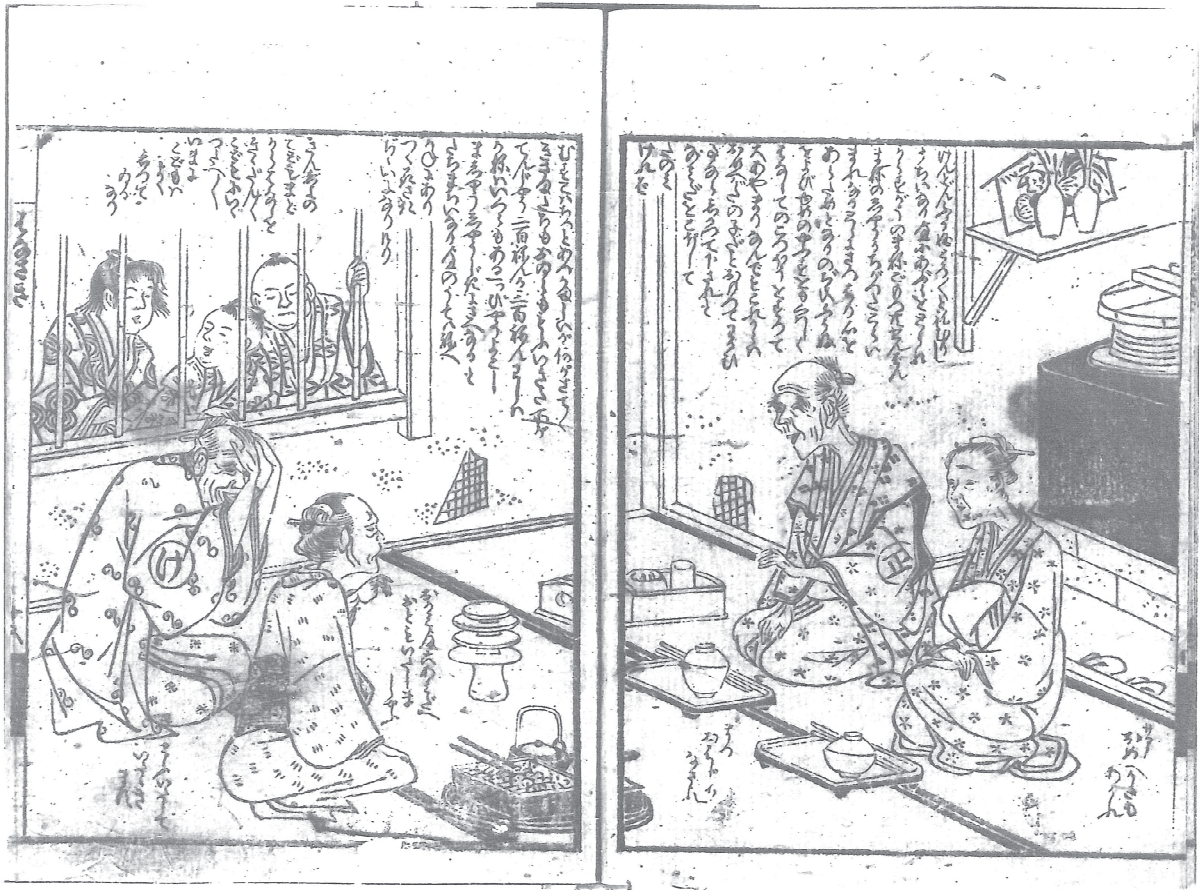


図1 『御馴染花咲祖父』（東京都立中央図書館加賀文庫蔵）十四丁裏・十五丁表

この構造は、「舌切雀」「瘤取り爺」「鼠の浄土」等と同様、一般に「隣りの爺」型と称されるものである。しかし、「花咲爺」の（構造上）の特徴を「隣りの爺」型の一種と位置づけるだけでは不十分である。「隣りの爺」型の形式は、ストーリーを展開させる上で重要であるが、「花咲爺」を「花咲爺」たらしめているもの、つまり他の「隣りの爺」型の昔話の昔話と明らかに異なる特徴を形づくっているものが他にある。モチーフ「I」～「VIII」において「正直爺（婆）」「慳貪爺（婆）」以外の要素となっているのは「犬」「臼」「灰」であるが、要するに江戸期昔話絵本「花咲爺」作品の注目すべき（構造上の）の特徴もこの「犬」「臼」「灰」の関係にあると考えられる。今後、各モチーフの内容・描かれ方をさらに細かく分けて比較検討をおこない、それらの関係を明らかにしていきたい。

注

- (1) 拙著「江戸期昔話絵本『花咲爺』の諸本」『昔話―研究と資料―』第二十五号 日本昔話学会 平成九年。
- (2) 『日本昔話大成』十一巻（関敬吾著 角川書店 昭和五十五年）所収「昔話の型」一九〇「花咲爺」四十三頁。
- (3) 一覧で示した書名のうち、①④⑥⑧⑨⑩⑪⑫は表紙及び題簽（原のもの）の記載による。作品②③⑤は後に記されたものであるため「一」を付してある。なお、選別基準や諸本の詳細については拙著「江戸期昔話絵本『花咲爺』の諸本」（注1）一四三～一四九頁、作品⑨⑩については、拙著「江戸期昔話絵本―『赤本再興 花咲ぢ』について（一）」「江戸期昔話絵本―『赤本再興 花咲ぢ』について（二）」（『岡崎女子短期大学研究紀要』第四十号・四十一号 平成十九年・二十年）を参照のこと。

参考文献

- ・佐竹昭広『民話の思想』（平凡社 昭和四十八年）
- ・伊藤清司『花咲爺の源流―日本と中国の説話比較―』（ジャパンパブリッシング・昭和三十二年）
- ・稲田浩二編『日本昔話と古典』

- ・『日本昔話通観』第二十八卷 同朋舎 昭和五十三年
- ・瀬田貞二『落穂ひろい』（福音館書店 昭和五十七年）
- ・鈴木重三・木村八重子篇『近世子どもの絵本集』江戸篇  
（岩波書店 昭和六十年）
- ・大木卓『犬のフォークロア 神話・伝説・昔話の犬』  
（誠文堂新光社 昭和六十二年）
- ・稲田浩二著「昔話タイプインデックス」（『日本昔話通観』第二十八卷 同朋舎 昭和六十三年）
- ・鈴木重三「白百合女子大学所蔵・新収 江戸末期子ども絵本二十三種解題」  
（『白百合女子大学児童文化学会紀要』1所収 平成元年）
- ・稲田浩二「殺された犬の軌跡―「花咲か爺」の国際比較より」
- ・『梅花児童文学』第九号 梅花女子大学院児童文学会 平成十三年）
- ・部矢祥子『花咲か爺』灰の物語と考えることへの疑問―犬と人とのかわり  
の視点から」（『季刊群書』第六十号 続群書類従完成会 平成十五年）
- ・加藤康子編著『幕末・明治豆本集成』（国書刊行会 平成十六年）。
- ・加藤康子・平尾祥子・河村真美「近代以前日本児童文学の研究」  
（研究成果報告書『子どもの本の森』 梅花女子大学児童文学・絵本センター  
平成十三年）

本稿の写真版につきましては、東京都立中央図書館のご許可をいただきました。ここに記して御礼申し上げます。



**Abstract**

To clarify the motif composition of “Grandfather Cherry Blossom,” an illustrated folk story of the Edo Period, motifs underlie its 15 sections were identified as “advent of a dog,” “unearthing of treasure as directed by the dog,” “loss of the dog,” “acquisition of treasure from a rice mortar,” “loss of the rice mortar,” “blossom of cherry by sprinkling rice mortar ash,” “doom of the greedy old man” and “destiny of the honest old man (woman).”